



# オムロン京都太陽株式会社

〒601-8155 京都府京都市南区上鳥羽塔ノ森上河原87 TEL 075-672-0911

## 職能的重度障害者の職務領域拡大 環境ISO14001 認証取得による職場活性化

### 事業の概要

■ 沿革 オムロン(株)と(社福)太陽の家との共同出資により、社会的・経済的自立を目指し、障害者に安定した職場の確保と雇用を推進するために設立。現在、オムロン(株)より100%の受注生産を行っている。  
オムロン京都太陽(株)サイト内の福祉工場・授産施設を含めて生産に従事している障害者は149名。そのうちオムロン京都太陽(株)の障害者は14名である。

■ 従業員数 32名 うち障害者14名(平成12年1月1日現在)

視覚障害者	聴覚障害者	肢体不自由者	内部障害者	知的障害者	精神障害者	その他
—	1 (1)	13 (11)	—	—	—	—

( )内は重度障害者

■ 事業内容 光電センサ・健康機器・コントローラ電源等の電気機械器具の製造販売

### 改善の要約

#### テーマ1

#### 製品梱包作業の機器開発

身体のフル機能と高いスキルに依存していた製品の梱包作業工程の改善を行うこととした。

#### テーマ2

#### 環境ISO14001 認証取得による職場活性化

これまで無関心であった環境への取り組みが、新しい職場風土を作り、地域への奉仕になると考え、環境ISO14001 認証取得に積極的に取り組んだ。

# 改善の概要

## テーマⅠ

### 製品梱包作業の機器開発による職能的重度障害者の雇用と職務領域の拡大 —多機種同時梱包作業による“ポカミス0化”—

#### 改善の背景

主力商品である光電センサは軽薄短小化し、高密度・高集積化している。さらに多品種・多仕様・小ロットとなったことで、脳性マヒ者など職能的重度障害者の就労領域が狭まっていた。さらに社員の高齢化、職能的重度障害者の増加で、生産対応が困難となってきた。

そこで、従来、身体のフル機能と高いスキルに依存していた製品の梱包作業工程の改善に着手し、職能的重度障害者の職務領域の拡大をめざした。

#### 改善の詳細

### 6ライン480仕様あった梱包作業の職種群を1カ所に集約

#### 1 すべての作業要領書をパソコンに入力

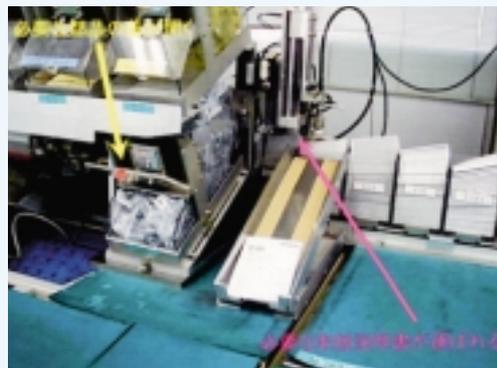
コードナンバーでCRTに自動呼び出しができるようにして、製造指図書をビジュアル表示できるようにした。



バーコード読み取り

#### 2 ゲート付き自動開閉部品収納BOXの設置

製造指図書の指示をバーコードで読み取り、必要な部品のゲートだけが開くようにした。



取扱い説明書の供給

#### 3 取扱説明書自動供給機の設置

製造指図書の指示をバーコードで読み取り、必要な取扱説明書を1枚ずつ供給するようにした。



必要なラベルの供給

#### 4 ラベル自動印字機械の設置

ラベルは製造指図書の指示をバーコードで読み取り、必要な機種仕様を自動印字し、ラベルサイズも自動選択し、1枚ずつ供給できるようにした。

改善の効果

## 職能的重度障害者の職域拡大とミス“0”を実現

- 1 スキルレスのため、職能的重度障害者および新人でも従事が容易になった。
- 2 梱包作業のクレーム、ミスが“0”となった。
- 3 作業工数が20DM/1台と短くなった。
- 4 作業スペースを従来比50%削減できた。
- 5 働きやすい職場づくりが、社員のモラル向上につながった。

## テーマ2

### 環境ISO14001 認証取得による職場活性化

改善の背景

従来、環境に対する取り組みには無関心であった。また、地域への奉仕(恩返し)についての関心も薄かった。新しい職場風土形成が必要な時期でもあり、環境ISO14001への取り組みを行うことで職場の活性化につながると考えた。

改善の詳細

### 1 環境ISO14001 認証取得への取組み経過

項目	2017/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2018/1月	2月	3月
1. システム構築	環境マネジメントシステム構築 環境方針策定	組織・手順・標準・規程策定					マニュアル策定			マニュアル策定		
2. パフォーマンス (環境計画・改善計画)	環境計画策定	改善計画策定	環境計画策定	環境計画策定	環境計画策定	環境計画策定	環境計画策定	環境計画策定	環境計画策定	環境計画策定	環境計画策定	環境計画策定
3. 教育/啓蒙		管理職教育	リーダー教育	一般教育	一般教育	一般教育	一般教育	一般教育	一般教育	一般教育	一般教育	一般教育
4. 内部監査 (自主監査)							第1回 10/10	第2回 11/10	第3回 12/10	第4回 1/10		
5. 経営者による 見直し										見直し		
6. 認証取得 (2017/12/20)											プレ審査 1/10	本審査 2/10

## 2 環境に対する具体的な取組み

- こまめに電源スイッチをON、OFFした。
- 排出物を資源化するものと廃棄するものに分別した。
- コピー紙の再使用、縮小コピー等、紙の使用量削減に積極的に努めた。



排出物の分別



排出物の分別

### 改善の効果

## 環境パフォーマンスの大幅削減達成

### <初年度>

- ・省エネ（電力） 6%減（1990年度比32%減）  
（重油） 19%減
- ・省資源（コピー紙） 43%減
- ・廃棄物リサイクル化 56%（1999年度80%見込み）
- ・規制化学物質 29%削減

## 環境への意識の浸透

“環境にやさしいことは障害のある人にとってもやさしい”との考えから、省エネへの取り組み・廃棄物削減への意識が浸透した。

## 社会福祉施設として日本初の 環境 ISO 14001 認証取得（取得日：1998年3月31日）

構内に「生産の場である」工場（オムロン京都太陽（株））と「生活の場」である住居（太陽の家 京都事業本部）がある。工場のみを対象とした認証取得ではなく、両方を含めた同一サイトとしての認証取得であった。